

昭和60年07月20日 作成
1991年10月 1日 改正
1998年 4月16日 改正
2001年12月12日 改正
2009年 7月 1日 改正
2010年 2月 1日 改定
2012年10月 1日 改定
2014年12月 1日 改定
2018年 7月 1日 改定
2020年 3月 1日 改定

東海大学海洋研究所研究報告・審査および原稿作成に関する要領

東海大学海洋研究所研究報告は、東海大学海洋研究所が年1回定期的に発行している学術雑誌である。原稿として、原著論文、総説、技術報告、ノートを受け付ける。すべての投稿について、担当編集委員を含む2名以上の厳密な査読を実施したのち掲載の可否を決定する。

投稿は広く海洋ないし地球科学および海の学術と文化の発展、教育に貢献する分野を受け付ける。海洋研究所ないし海洋学部関係者であること。ただし海洋研究所所属員の紹介による投稿も可とする。

なお海洋研ホームページでのon-line 出版となるので、投稿時にはデジタルデータで投稿すること。

1. 用語

和文または英文とする。

2. 構成

表題. 英文要旨 (Abstract). 緒言 (Introduction), 材料と方法 (Materials and methods) または観測(Observation)など, 結果(Results), 議論(Discussion), 謝辞 (Acknowledgment), 引用文献 (References) の順を基本とする。

3. 書き方

(1) A4判縦置きで、横書きとする。文章はマイクロソフト・ワードで提出する。

(2) 書体

(a) 文中、姓名とも頭文字は大文字、続く字は小文字で書く。

- (b) 動植物の学名の属名と種名は、イタリックとする。和名の場合には、カタカナを用いる。
 - (c) 特殊記号や文字については編集幹事に一任する。
- (3) 表題
- (a) 表題、著者名、所属および住所（郵便番号必記）を要旨および本文とは別の紙に和文および英文で上記の順に行を改めて書くものとする。
 - (b) 表題を省略した Running head（ハシラ）を和文原稿は和文（20字程度）で、英文原稿は英文（40字程度）で指定する。
 - (c) 英文表題中の単語のうち、接続詞、冠詞、および前置詞以外は、全て大文字で書き出す。但し、文頭は全て大文字とする。
例 The Evaluation Test of the Kanto Decca Chain in Suruga Bay.
- (5) 要旨
- (a) 和文原稿は本文の前に英文要旨（Abstract）をつけ、原則として和文要旨はつけない。
 - (b) 英文原稿は本文の前に英文要旨（Abstract）を付け、引用文献の後、末尾に和文要旨をつける。
- (6) 本文
- (a) 本文は英文要旨とは別に頁を改めて書く。
 - (b) 本文中に文献を引用するときは著者の姓と年号（カッコで囲む）で表わす。例えば ”Nishimura (1975) studied . . . , ” . . . いくつかの研究がある（岩下, 1975；西村, 1978）.” 等とする。著者が2人以上の場合は、（岩下・西村, 1975），Nishimura et al. (1975)，西村ほか (1975) のように書く。
- (7) 本文と要旨が英文の場合、審査員に意見を求め英語を母国語とする人に校閲を依頼することがある。その校閲依頼に要した費用は著者負担となる場合がある。
- (8) 図（写真を含む）および表
- (a) 図および写真は十分な解像度を持っていること。jpeg, tiff, png, gif等の汎用的な形式が望ましい。図および写真1枚につき、1つのfileにする。原稿の図はWord内に張り込まず、本文はテキストのみとする。また動植物の図などは、図中にスケールを記入しておくことが望ましい。説明はFig. 1, 2, . . . とする。
 - (b) 図表の表題と説明文は英文とする。その原稿は別の紙に順を追って書き、本文中には書かない。本文原稿の欄外に図表を挿入するおよその位置を指

定する。本文中に図、表を引用するときは、用語が和文・英文にかかわらず、Fig. 1, Figs. 1, 2, Table 1, Tables 1, 2 の如く書く。

(c) なお、表はエクセルが望ましい。

(9) 引用文献

- (a) 本文中に引用した文献のみを著者の姓のアルファベット順に並べ、番号はつけない。
- (b) 引用文献記入の形式は著者名（欧文文献の主著者は姓を先に、第2著者以後は姓を後に）、西暦年（カッコで囲む）、表題、雑誌名（単行本のときは書名）、巻（号）、掲載ページ、doi等、（単行本のときは、出版社、発行都市、総ページ数）の順に記載する。雑誌名、書名は頭文字を大文字で書く。
- (c) 英文論文中に和文の文献を引用するときは、各文献の末尾に括弧をつけて（in Japanese with English abstract）、または（in Japanese）などと付記する。

以下に引用の例を示す。

雑誌論文

Moore, J. G., K. Nakamura, and A. Alcaraz. (1966) The 1965 eruption of Taal volcano, Science, 151, 955-960.

単行本

Blaber, S. J. M. (2000) Tropical estuarine fishes: Ecology, exploitation and conservation. Blackwell Science, Oxford. 372pp.

単行本の章

Wolanski, E., Y. Mazda, and P. Ridd. (1992) Mangrove hydrodynamics. In: Robertson, A. I. and D. M. Alongi. eds., Tropical mangrove ecosystems. 43-62. American Geophysical Union, Washington DC.

和文文献の例

煎本孝 (1994) アイヌの文化変化と文化復興運動—変化する環境、社会に対応する人間行動の文化人類学的研究、旭硝子財団助成研究成果報告、539-545。

菊池勇夫 (1991) 北方史のなかの近世日本、小倉書房、390p.

4. その他

カラーページ等の特別な追加料金が発生した場合は著者に負担をお願いする場合がある。

なお不明な点は編集委員に問い合わせる事。

電子原稿提出にあたって（最重要注意事項）

- 1) 原稿の図はワードなどのワープロソフトに張り込まない。
- 2) 段組みを行わない（1段階とする）。
- 3) 図はパワーポイントなど、ソフトではなく、十分な解像度を持つ一つずつ単独のファイルとする。望ましい形式はjpeg, png, tiff, gifなど。
- 4) 写真もjpeg, png, tiffで一つの写真が1つのファイルとなるようする。
- 5) Figure captionは図に書き込まない。Figure captionは別紙で作成する。
- 6) 引用文献はアルファベット順とする（和文引用文献も著者のABC順に入れ込む）事。
- 7) フォーマットについては適宜過去の研究報告を参照の事。
- 8) 脚注は別ファイルとすること。勝手に投稿時にレイアウトしない。
- 9) 投稿の時点では2段組みをしたり、図を自分で張り込まないこと

投稿前のチェックリスト：

6. 原稿は、以下のすべての項目をチェックしてから提出して下さい。

- 表題は内容をよく反映しており、和文と英文との間に著しい差はないか？
- 英文アブストラクトがあるか？
- ランニングヘッドは指定しているか？
- キーワード（5つ以内 英文） あるか？
- 図・表が揃っているか、番号は合っているか、説明はあるか？
- 図は鮮明か、別ファイルとなっているか？
- 脚注は別ファイルとなっているか？
- 文献にもれや、余分はないか？
- 文献はアルファベット順になっているか？
- 文献の書式は統一され、所定の書式となっているか？